



# 汐見の和

横浜市立汐見台小学校  
令和5年9月25日  
学校だより10月号

【学校教育目標】人やものに豊かにかかわり、ともに未来を創る子  
電話 045-761-1561 FAX 045-754-6409  
ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shiomidai/>



## 架け橋

校長 犬塚 真

新校舎での学校生活が始まってから約一か月が経ち、今は運動会に向けた準備が始まっています。広々とした体育館は、学年全クラスの児童が集まっても窮屈さを感じることはありません。また、冷房も入るので、熱中症のリスクを回避しながら体育の授業や運動会に向けた練習を行うことができます。

8月28日と9月9日に行った新校舎落成記念式典と校舎見学会及び土曜参観では、たくさんの皆様にお越しいただき、ありがとうございました。また、学校ホームページ上でお願いをしている、参加された方々からのご感想も続々とお寄せいただき、感謝申し上げます。

式典や見学会当日は、歴代の校長先生をはじめとする元本校の教職員、かつての在校生や卒業生など、ふだんなかなかお会いすることのできない方々と出会い、当時の校舎や学校生活の様子をお聞きすることができました。私にとりましてとても貴重な経験でした。

さて、落成記念式典や校舎見学会のように多くの方が顔をあわせることで生まれるつながりもあれば、物事を介したつながりもあります。特に後者はコロナ禍において知恵を絞りながら生み出した手法ですが、今はいわゆる「持続可能」なつながりづくりとして、本校でも取り組みを続けています。

昨年度から行っている生活介護事業所「いそご青い鳥」とのヒマワリを介した交流もその一つです。今年度は7月4日に本校の3年生がヒマワリの種を受け取りました。土や栽培用のポット、水やり用のじょうろもあわせて用意していただきました。夏休みが始まるまでの間、子どもたちは毎日水やりをしながら発芽までを育て、その後「いそご青い鳥」に引き継ぎました。夏休みの間、成長していくヒマワリを見に事業所を訪れた子どもたちもいたそうです。先日、立派な花を咲かせたヒマワリの一部を持って来ていただきました。



「架け橋」という言葉があります。二つの場所をつなぐために架けられる橋をさす言葉ですが、人と人とをつなぐという比喩的な意味でもよく用いられます。校舎の建替えもこのヒマワリも、まさしく「架け橋」となっているわけです。

そして、この新校舎には体育館をはじめ、多目的室やテラス、大階段や中庭といった人々が集う場所がたくさんあります。さらにバリアフリー設計でエレベータや多目的トイレも完備されており、だれもが使いやすい施設となっています。10月からは文化スポーツクラブ（学校開放）の体育館利用が再開し、2月には新校舎になって初めての地域防災拠点訓練が行われる予定です。また、地域学校協働本部を核とした教育ボランティアの活動も新たな展開を考えています。保護者や地域の皆様と共に行う様々な活動にさらなる広がりが期待できます。